

ちょっとだけ!!  
フライングディスク  
将来構想会議  
2020

将来構想メモvol.17(2021/02/02)

Flying Disc Times  
presents



<ゲストプロフィール>

**稲葉拓郎(いなば たくろう)**

活動拠点:関東

所属:ICU WINDS 選手兼マネージャー →文

化シッターバズバレッツ

チームスタッフ

たまに代表マネージャー

ビッグボンバーズ所属(選手ごく稀に)

東京都フライングディスク協会

理事(大会関連)

大田区ユースチーム バンキングス

コーチ

<関わり方>

チームスタッフ、都道府県協会役員、ユース

チームコーチ、ごく稀に選手

**長沢和貴(ながさわ かずたか)**

活動拠点:中部・関西

所属:近畿大学生物理工のFOREST

→草薙親子アルティメット 代表

<関わり方>

昨年の7月から子供とその保護者にアルティメットを教えています。

お友達繋がりでなんかしらの大会に出場(ビーズなど)可能ならば親子で出場してます。

「親子アルテ」各種アカウント

[Twitter](#)

[note](#)

[YouTube](#)

<ユースの指導を始めたきっかけや活動実態>

稲葉さん

- ・東京都フライングディスク協会として動いた時に指導者講習に来た方が主導
- ・2018年1月から開始。もともとあったドッチボールのチームから人が流れてきた  
:セカンドスポーツとして
- ・毎週1回、近くの廃校の小学校(天然芝)で日曜日の午前中活動している
- ・メンバーは15人くらいで小学生がメイン。中学生の活動も増やしていきたい。

長沢さん

- ・長男が小学生1年生の頃から(現在4年生)親子で大会に出ていたが  
長男は主に大会でしかアルテをやる機会がなかったので地元静岡で子供メインで練習できないか探したが無さそうだったので自分でやってみようと思った。
- ・大会に参加するには大人を含めたMIXで出るしか無いので保護者も一緒に練習に参加してもらう事を基本にしてやっている
- ・大人10人子供10人 月3回 土日のどちらかで活動

<困っていること / 課題>

・継続的な指導の不足

→小学校卒業後にプレーする場所や機会がない

・練習場所の確保

→決まったグラウンドを安定的に予約できない

<フライングディスクをこうしていきたい>

・子ども達が継続的に「楽しめる」環境作り

・子ども向けの簡略化したルールづくり

・子ども向けの練習方法の提案や実績の共有

<考えている解決策>

・**中学、高校での「部活」とは異なる指導場所を確保する**

→中高生が練習できる場所がなかなかないので、社会人チームに混ぜてもらったりしているのも現状

・**「楽しむ」環境作り**

→成功体験を積みやすいスポーツ

例) 投げる、とる、はしる

→最初からアルティメットを教えるのではなく、プレー一部分を切り取って練習する

→成功体験をたくさん積むことで楽しいにつながる

・**「指導現場」と「指導環境」の整備**

→子ども達だけでセルフジャッジは難しいので、子ども達だけでもできる「わかりやすいルール」や試合形式をつくる

例) バスケではポートボールやミニバスが存在するように簡略化させる

<論点の整理>

- ・練習場所の確保やその環境はユースでも悩みの種
  - ユースに限らず全世代で考えられるコミュニティ内の大きな課題
  
- ・「アルティメット」にこだわりすぎず、「フライングディスク」の要素
  - フライングディスクの断片的な要素に子どもが上達する鍵が詰まっている
  - 成功体験が本人達の「楽しい」につながる
  
- ・それぞれの世代に合わせたルールが必要
  - 色々な世代で楽しめるスポーツでもそれぞれの年代に合わせたルールや形式を用意する



# 参加者写真

担当メンバー:小峯萌花

